

周南市 藤村龍平さん、明日実さん夫妻

ワインツーリズムに挑戦

今は栽培に力を注ぐ

【山口】周南市の観光農園「須金フルーツランド」の中で、最も標高が高い北の端に位置する日の出農園。経営者の藤村龍平さんは同市の出身で、昨年4月にUターンして農園経営を始めた。龍平さんは幼少期から親しんだこの地区でワインを造りたいとの思いから、長野県の日本ワイン農業研究所アルカンヴィ



ーニユで研修を受け、長野や山梨のワイナリーで

藤村さん夫妻

働きながら5年間ワイン造りを学んだ。妻の明日実さんは長野で地域おこし協力隊やワインツーリズムの民泊の管理人をしていた。帰郷後はやまぐち農林振興公社の「農の継活」事業を活用して農園を第三者継承し、ブドウ80㍏、梨30㍏の農場でピオーネやシャインマスカット、二十世紀、豊水などを栽培している。就農からの一年を通じて、ワイ

ン用と生食用のブドウの栽培方法の違いや、販売、宣伝、雇用、資金などさまざまな課題に直面した。「将来のワイン造りに向けて、まずはブドウ、梨を安定しておいしく作りたい」と話す。

夫婦の夢はワインが飲めて滞在しながら周辺地域を観光するといったワインツーリズムを周南市で実現すること。「興味があることはやらないと気がすまない。やりたいことを言葉にして、一つ一つ夢を実現していきたい」と二人は熱く語った。(周南市農業委員会)

R6. 5. 24